

平成 21 年 9 月 1 日

御取引先 各位

藤沢紙工株式会社  
専務取締役営業部長

荒川 豊



独立行政法人 高齢・障害者雇用支援機構 理事長賞の表彰に関して

拝啓 初秋の候、貴社ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

2009 年 9 月 1 日付けにて、独立行政法人高齢・障害者雇用促進機構より、障害者の雇用維持・促進を積極的に実施する事業者として、平成 21 年度における高齢・障害者雇用支援機構の理事長賞の表彰を拝受致しましたので、ご報告申し上げます。

弊社では、1980 年代より神奈川県下の養護学校を卒業した知的障害者の正社員採用を開始し、現在では勤続 25 年目を迎える第 1 期生を筆頭に、合計 11 名の知的障害者の方々が、段ボール製品の基幹生産拠点である湘南工場で勤務しております。

この度、独立行政法人高齢・障害者雇用促進機構より、過去 25 年間に渡る知的障害者の定期採用、及び長期雇用を高く評価頂き、平成 21 年度の理事長賞の対象企業として表彰頂きました。

(詳細は、[http://www.jeed.or.jp/activity/education/h21\\_hyosho\\_result.html](http://www.jeed.or.jp/activity/education/h21_hyosho_result.html)にてご確認下さい)。

本年度における理事長賞の表彰は、神奈川県内では弊社 1 社のみが対象であり、且つ、段ボール製造業・加工業においては、弊社が初の理事長表彰となりました。これは、知的障害を持つ社員の 1 人 1 人が、他の社員と同等に業務を行おうとする姿勢を持ち続け、且つ努力を惜しなかつたことに加え、ご家族の皆様方より、長きに渡り、暖かいご支援を頂いてきたこと、そして何より、数多くのお客様から、末永く愛顧を頂戴しているからこそ、その表彰であり、皆様方には、本書にて心より御礼申し上げます。

弊社の障害者の雇用に関しては、未だ至らぬ点が多々御座いますが、今後も定期的に知的障害者を採用し、知的障害者が健常者と同等に活躍出来る事業所を地域社会に提供すべく、引き続き、社内環境の整備に尽力して参りたいと存じます。

最後になりますが、御取引先の皆様方には、従来と変わらぬご指導・ご鞭撻を賜ります様、改めてお願い申し上げます。有難う御座いました。

敬具